

科目名	単位数	学年	必修・選択	対象学科	備考
家庭総合	2	3	必修	体育科	

1. 科目概要および目標

- ①家族や生活の営みを人の一生との関わりの中で総合的にとらえる。
- ②学習した知識や技術を実生活に生かして、各自の生活課題を解決し、よりよい生活を工夫する能力を定着させる。
- ③家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

2. 成績評価

- ・定期テスト
 - 1・2学期は期末考査、3学期は学年末考査を実施する。
- ・提出物

ワークノート、ファイル（授業プリント）、作品提出、授業での課題等にて評価する。
- ・ホームプロジェクト（夏休みの課題）
- ・授業態度、実習時の取り組み態度・姿勢等を加味して評価する。

定期テスト	60	%	作品・提出物	30	%	出席・授業態度	10	%
-------	----	---	--------	----	---	---------	----	---

3. 使用教科書・教材

- ・教科書：新家庭総合 パートナシップでつくる未来(実教出版)
- ・副読本：ニューライブラリー家庭科 資料+成分表2017(実教出版)

4. 授業の展開と形態

教室での授業は、講義が中心となるが、作業やロールプレイングなどを取り入れる。また、被服実習や調理実習では、すぐに取り組めるように予め準備を整える。

5. 学習方法

授業で学んだことを実際の生活の場で応用して実践力をつけるために、授業や日々の生活で次の点に重点を置く。

- (1) 生活を見つめ直す。
- (2) 生活の課題を明らかにする。
- (3) 現在と将来のよりよい生活を作るための知識や技術を学ぶ。
- (4) 授業で学んだことを生活の中で実践してみる。

6. 履修上の留意点

(1) 科目選択をする際考慮すべき事項

実習科目などで、作品や提出物などを重視して評価する。また、作品については、実習の態度や過程も評価するので授業を大切に受けるようにしよう。

(2) 就職・進学試験等と関連しての注意事項

家庭科関係で進学する場合は、生活科学系学部・学科に進学することになります。専攻する分野にもよりますが、食物系なら生物や化学、住居系なら物理や現代社会を学んでおこう。大学で習得できる資格などは分野によって違うので、予め調べておこう。

月	章	節	単元	配時	マーク
4			オリエンテーション	1	
5	2編 生活をつくる 2章 衣生活をつくる	1. 人と衣服のかかわり 2. 衣服の機能 3. 衣服の素材を見てみよう 4. 衣生活の管理 5. 衣生活と資源・環境 6. すべての人が快適な衣生活を 7. 衣生活をつくろう	①人と衣服のかかわり ②ライフステージと衣服 ①衣服の機能 ①衣服素材の種類 ②繊維の種類と特徴 ③衣服素材の性能 ①衣生活をつくる ②衣服の手入れ ①衣生活と資源・環境 ①安全な衣生 ②すべての人が快適な衣生活を ①衣服の形・デザイン ②衣服製作の基本	20	
6			定期考査〔期末テスト〕		
7		7. 衣生活をつくろう	③ハーフパンツの製作	8	
9	1編 人とかかわって 生きる 3章 高齢者とかかわる	1. 高齢社会に生きる 私たちの暮らし 2. 高齢者を知る 3. 高齢者の自立のために 私たちができること 4. 豊かな高齢期を迎えるしくみ	①高齢者とかかわる ②高齢社会の状況 ①高齢者の心身の変化②高齢者の生活③高齢者の生活の課題 ①高齢者の生活を支える介護 ②介護の心と介護技術 ①大きな介護不安 ②介護サービスの利用	6	
10	4章 社会とかかわる	1. 支えあう暮らしとは 2. 私たちの社会福祉 3. 地域社会の一員としてのボランティア活動	①社会保障制度の仕組み ①共に生きるとは ②地域で支えあう暮らし ①ボランティア活動とは	4	
		5. 食事の計画と調理	第3回調理実習：麻婆豆腐・粟米湯・杏仁豆腐	2	
11	2編生活をつくる 3章 住生活をつくる	1. 人と住まいのかかわり 2. 住まいと住まいの文化 3. 住まいを計画する 4. 健康的な住まい 5. 安全な住まい環境 6. これからの住まいを考える	①人と住まいのかかわり ②ライフスタイルと住まい ①住まいの移り変わり ②生活様式と住まい ①住空間の成り立ちと平面計画 ②平面図を読み取る ①健康に配慮した快適な室内環境②住まいを管理する ①安全に配慮した住まい ②人にやさしい住まい ①住生活の現状 ②住環境と地域社会 ③快適な住まいを次の世代に	10	
12	3編消費者として 自立する 1章 消費行動 を考える	1. 消費行動と意思決定 2. 社会の変化と 消費行動	①主体的な消費行動 ②適切な選択をするために ①「買う」ことは「契約」 ②多様化する販売方法 ③適切な契約 ④支払方法の多様化と消費者信用 ⑤製品による事故と被害の救済	4	
			定期考査〔期末テスト〕		
		3. 消費者の権利と責任	①消費者の権利を守るために ②これからの消費者	1	
		5. 食事の計画と調理	第4回調理実習：お弁当（自由献立）	2	
1		4. 持続可能な社会環境	①私たちの生活と資源・環境 ②持続可能な社会をめざす ③これからのライフスタイル	2	
		5. 食事の計画と調理	第5回調理実習：ミトソープスタ・コンソメスープ・マトレーヌ	4	
2	2章 経済的に 自立する	1. 経済の仕組みを知る 2. ライフステージと 経済計画	①経済の中の家計 ②家庭経済と家計管理 ③現代の家計 ①独立して暮らす ②人生設計と経済設計	1 1	